

# あべともこニュース

生命の差別は許されない！

◆岐路に立つ韓国、そして日本

7月9日から11日まで、立憲民主党内の日韓議員連盟のメンバーとして韓国を訪問しました。

韓国では「国民の力」のユン大統領に政権が交代して以降日韓関係の改善に積極的、かつ未来志向というスタンスを明確にして、これ迄、両国間の懸案となっていた問題、従軍慰安婦や徴用工問題にも取り組まれていきます。

他方、韓国国内では六月の選挙では野党の「共に民主」が議席を大幅に伸ばし、いわゆる捻れ状態。国会は空転とも言える状況です。そんな微妙な政治状況の中ですので、今回は与野党の政治家に会い情報交換が出来ればとも思いました。また、訪問先は普段はソウルがもっぱらですが、韓国第二の都市となっている釜山にもお邪魔し、お隣の慶州にある仏国寺も見学してきました。日本の奈良の東大寺の建立と相前後するこのお寺もまた日韓の長い歴史を刻んでいます。東アジアの平和と安定の為に、欠くことのできない日韓関係、今後も対話を重ねていきます。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）  
 当選8回、東京大学医学部卒業、  
 小児科医、あべともこ子ども  
 クリニック（湘南台）理事長  
 現在、厚生労働委員会  
 原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ  
 公式X (旧Twitter)  
 @abe\_tomoko

[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)



あべともこ事務所  
 公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索



◆PFASパブコメー安全評価不十分

6月25日に内閣府食品安全委員会が実施していた、PFASに係る食品健康影響評価についてのパブコメ取りまとめが発表されました。2月から3月の一ヶ月という短期間での募集でしたが、3952通ものコメントが寄せられ、発がん性をはじめとした健康影響への指摘が多々ありました。しかし、食安委の見解は、「動物実験で、出生児への影響（低体重・免疫低下等）」は否定できないとしただけで、発がん性に関しては国際がん研究機関が認められたに關わらず、「証拠は限定的」との評価。他方、16日に北海道苫小牧で59ナノ。翌17日には、91〜3万5000ナノという高濃度汚染が千葉鎌ヶ谷市で発覚、一部は飲用井戸からとのこと。全国で汚染対策が待ったなしです。PFAS除去に用いられる活性炭の再処理もどうするか。これまで「放置・蓄積」された汚染を食い止めるためには、まず規制基準を厳格にすべきです。

◆人生を返して！原告全面勝訴！

7月3日、最高裁大法廷で、障害者らに強制されてきた旧優生保護法（1948〜96年）の不妊手術の規定は、憲法違反という判決が出ました。国が主張する除斥期間（時間切れルール）を著しく正義・公正の理念に反し容認できないと退け、国に損害賠償責任があると明示。「子を生むことを奪われた」「人生を返して欲しい」と訴えてきた原告らの全面勝利です。

旧法は「優生上の見地から不良な子孫の発生を防止する」ことを目的に、日本国憲法施行後の国会で、初の議員立法によって成立。判決は、国会議員の立法行為も違法と断じました。なぜ、憲法違反の法律を全会一致で成立させてしまったのか。なぜ、優生手術が凶暴さを増して拡大していくのを許してしまったのか……いま問われています。国に続く会の謝罪も必要。原告以外にも多数に及ぶ被害者への補償と人権・尊厳の回復、検証体制、再発防止策に取り組みます。



原告の北三郎さん、支援者の皆さんと